



議会だより

北栄

北栄町議会
58
令和3年3月



風車更新 認めず 2
選挙運動に助成 5
町政 ここを問う 7

「福は内」2月2日の節分
(栄保育所・いろりの郷)



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



※ F-I-T申請 認めず

風力発電を否決

12月定例議会を12月7日から21日まで、15日間の会期で開きました。条例2、補正予算11、動産の買入れ、規約の変更についてなど、全15議案を審議しました。その結果、風力発電会計補正予算は、10月臨時議会での風況調査と工事負担金の予算に続き、否決しました。他の14議案は原案通り可決しました。

※ F-I-T（固定価格買取制度）
太陽光、風力、水力などの再生可能エネルギーで発電された電気を、国が定める価格で一定期間、電力会社が買い取る制度。

答 藤江環境エネルギー課長

ブレードの旋廻範囲での同意書が必要である。隣地の同意書までは必要ないが、同意は求めたい。

健康被害は

問 斉尾 智弘

健康被害の報告は届いていないと聞いているが、今後あれば対応するか。

答 町長

人に危害を与えて実施してはいけない。配慮をしながらやっていきたい。

採算が取れるか

問 長谷川 昭二

ゼロカーボンを目指すといっても、赤字ではいけないし、住民サービスも示せないのではまずい。今回は補助金もないし、採算が取れるのか。

答 町長

F-I-T認定を受けることで、採算性はある程度計算ができる。

なぜ少ない予算

問 油本 朋也

前回、風況調査と系統連系工事負担金を一緒にした6300万円の提案が、今回は系統連系工事負担金3300万円だけだ。F-I-T申請の期限が迫る中、可決のために、少しでも低い予算にしたかったのではないかと。

答 藤江環境エネルギー課長

風況調査はF-I-T申請には必要なく、工事負担金は絶対条件だから、負担金だけを提案した。

やり方がまずい

問 藤田 和徳

F-I-T認定された後で、風力発電の今後を考えると行政のやり方は、はなはだまずい点があった。

答 藤江環境エネルギー課長

新型コロナウイルスの影響で、早期に検討会の立ち上げができなかった。

採算性に不安

問 井上 信一郎

採算性が不安だ。直営でやるメリットは何か。

答 藤江環境エネルギー課長

町がやると住民に安心感を与えられるし、地域おこしになる。外部から事業者が入ると、利益が外に逃げてしまう。

隣地の同意は

問 野田 秀樹

F-I-T申請に地権者の同意が必要だと言われたが、その範囲はどこまでか。隣地の同意は必要ないか。



国道9号に近接した風車

どう受け止める

問 津川 俊仁

北条砂丘風力発電検討会の答申を、どう受け止めるのか。

答 町長

答申を真摯に受け止め十分に検討し、住民説明会を開きながら進めたい。

収益性を考えて

問 秋山 修

収益性を考えないと事業は実施してはいけない。どのような状態になると、採算が取れると判断するのか。

答 藤江環境エネルギー課長

初期投資、固定費、解体費を見込んで、黒字になった時が採算が取れる時点だが、黒字をどんどんあげるのには、公共事業にそぐわない。一番大きな地球温暖化防止の理念をもっておきたい。

賛否あり

風力発電会計補正予算（第3号）

反対討論

油本 朋也

人体への悪影響、自然環境の破壊など、陸上風力発電の不都合な真実に目をつむっていてよいのか。

井上 信一郎

現在、道の駅北条公園の再整備計画が進んでいる。道の駅大栄の再整備、青山剛昌ふるさと館の移転新築、中央公民館大栄分館の建て替えなど、今後、多額の財源が必要となり、町財政に不安がある。

長谷川 昭二

現行風車から、人的被害を被っていると訴えている人を無視し、大型化で新たな健康被害を増大させることは、避けなければならない。

藤田 和徳

F-I-T申請後、現行風車のあり方を考えるというやり方は、許されるのか。やることなすことが遅すぎる。今回の駆け込み予算に正当性が見いだせない。

野田 秀樹

風車の更新自体に無理がある。山陰道との距離が50メートルのなか、想定外の風や地震、なんらかの原因で風車が倒壊したら大変なことになる。

阪本 和俊

健康被害や倒壊事故、自然環境の破壊などが懸念さ

れる。町財政をみても風車の更新は、リスクが大きい。

町田 貴子

風車の影が回って気持ちが悪く、羽の音が気になり頭がぐらぐらする、という健康被害がある。動植物、生態系への影響や、採算性も不透明であり、町民からの反対意見も多くリスクが高い。

田中 精一

建設には補助金もなく、40から50億円の借入れが発生する。重大事故により稼働停止になれば、借金の返済と解体処分費は、町民の税金で補うことになり、リスクが高すぎる。

賛成討論

津川 俊仁

更新風車について、継続して検討するための補正予算であり、建設を約束するものではない。

斉尾 智弘

検討会の答申は、尊重すべきである。次世代にこの豊かな環境を引き継いでいくと北条町気候非常事態宣言しており、更新すべきである。指摘される健康被害、採算性は解決できる問題である。

採決の結果、賛成少数で否決しました。

賛成議員

宮本・秋山・斉尾・森本・津川

質疑あれこれ

風力発電会計補正予算

議員と町長の選挙運動に助成

今年秋の選挙から実施

12月議会で選挙運動の公営に関する条例が制定されました。

これは公職選挙法改正に伴い、選挙カーの使用やポスター、運動用ビラの作成費用が公費で助成されるもので、今年の秋に実施される、町長・町議会議員選挙から適用されます。

- ① 選挙カー (タクシー) 1日当たり上限 28,000円
(レンタカー) 燃料代 11,000円
運転手 5,000円
12,000円
- ② 選挙運動用ポスター 1枚当たり上限 1,000円
(92枚まで)
- ③ 選挙運動用ビラ 町長 5,000枚
議員 1,600枚
1枚当たり上限 5円
- ④ 選挙用はがき 町長 2,500枚
議員 800枚

※以前より公費助成があります。

また、町議会議員選挙にも供託金制度が導入されます。

- 供託金 町長 50万円
議員 15万円

※供託金没収点未満の場合、上記①～③は公費助成になりません。



第5投票所 (下)



選挙カー



選挙用はがき



ポスター掲示版



多様な町民の意見、意向が町政に反映されるためには、現行の15人は必要であるとの意見が多数となり、削減しないこととしました。

議員定数

議会基本条例の規程により、定数と報酬について全員協議会で次のとおり決定しました。
令和3年10月22日で任期満了を迎える、町議会議員選挙は、これまでと変わらず議員定数15人、報酬22万4千円で実施されます。

議員報酬

報酬が低く、若い人や現役世代が立候補をためらう傾向がある中、現在の社会、経済状況を考慮すれば、報酬の引き上げは、みなさんの理解が得られないと判断し、据え置きとしました。

今年には議員選挙

定数・報酬変わらず

議案の審査結果

条 例	内 容	金額	採 決
町議会議員及び北栄町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例			可決 全会一致
町国民健康保険税条例の一部を改正する条例			
一般会計補正予算(第9号)		1億9115万円	
一般会計補正予算(第10号)		△1784万円	
一般会計補正予算(第11号)		529万円	
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		△51万円	
介護保険特別会計補正予算(第2号)		1577万円	
栄財産区特別会計補正予算(第1号)		177万円	
大栄歴史文化学習館特別会計補正予算(第3号)		160万円	
水道会計補正予算(第1号)	収益的収入 △18万円 収益的支出 △5万円 資本的支出 △45万円		
下水道会計補正予算(第1号)	収益的収入 △100万円 収益的支出 23万円 資本的支出 △270万円		
風力発電会計補正予算(第3号)	債務負担行為 3300万円		否決 (賛成5人)
動産の買入れ	(職員用ノートパソコン70台 760万円)		可決 全会一致
鳥取県町村総合事務組合理約の一部を改正する規約			



行政代執行される危険空き家 (江北)
一般会計補正予算 (第9号) 解体費 596万円



松くい虫の被害が目立つ砂丘地
一般会計補正予算 (第9号) 防除、伐倒駆除費 2178万円

みなさんからの請願・陳情はこうなりました

件 名	提出者・紹介議員	採 決	委員会の意見
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子 紹介議員 長谷川 昭二	不採択 賛成3人 (起立少数)	まずは30人学級の確実な実現をめざすべきである。
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するのとつりの会 共同代表 石田 正義 一盛 真 伊藤 英司	採 択 全会一致 意見書を提出	新型コロナウイルス禍における国民の不安は深刻であり、日米地位協定の抜本的改定は必要である。
地方消費者行政の拡充を求める意見書の提出についての陳情	足羽佑太	採 択 全会一致 意見書を提出	地方消費者行政の拡充は不可欠である。
日本学術会議任命拒否問題に係る真相究明等を求める意見書の提出についての陳情	足羽佑太	不採択 賛成4人 (起立少数)	北栄町の公益に関する事件とは言えない。
保健所の機能強化を求める意見書の提出についての陳情	足羽佑太	採 択 賛成12人 意見書を提出	新型コロナウイルスやその他の感染症対策、公衆衛生等の増進のため。

ここを問う

12月定例議会では8人の議員が17問の一般質問を行いました。

質問事項	質問者	ページ
風力発電所の更新	津川 俊仁	7
松くい虫防除	藤田 和徳	8
ワイン用苗木		8
生活交通	町田 貴子	9
高齢者の熱中症対策	飯田 正征	9
害獣捕獲検知装置		10
非接触型体温計	油本 朋也	10
道の駅再整備計画		11
大誠体育館	長谷川昭二	11
PCR検査		12
農業の持続支援	斉尾 智弘	12
農業振興基本計画		13
災害時の情報共有	秋山 修	13
ストーカー防止		14
押印廃止	秋山 修	14
更新風車の採算		15
広報紙の決算情報		15



津川 俊仁

津川 風車継続のため、F-I-T（固定価格買取制度）申請の必要性は理解できる。並行して、9基の風車F-I-Tを契約終了まで使い、利益を確保しながら貯蓄をし、地域新電力の検討を行うべきである。更新するか否かは、採算性を最優先に結論を出すべきである。家庭や自治会で設置

家庭設置の太陽光発電は、10年間で元が取れると考えれば、財政支援は必要も考える。

将来的に地域新電力会社が立ち上げられ、風力発電の活用が前提条件となる。

町長 F-I-T適用条件として認定後2年以内に現行風車を停止することある。この2年間に事業性について調査、検討が必要である。採算性を考えれば、適用が前提条件となる。

ない。自治会は発電事業者扱いになっており、卒F-I-T後に売電料金より法人税等が高くなり、赤字にならないよう、情報提供や助言をし、蓄電池システムの設置助成などを考えたい。



西から望む風車群

風力発電所の更新 止めるな 卒F-I-Tに向けて 町長採算は適用が前提

高校生議会 (令和3年1月14日開会)

- この経験は、将来いろいろな場面で役立ちそう。
- 町長からいい回答をもらって、実現しそう。
- 貴重な経験ができ、これからは活かしたい。
- 議員という仕事が少しわかった。

北中佑介高校生議長の進行で、鳥取中央育英高校生20人の高校生議員が、町長、教育長に15問の質問をしました。

当日の様子を写真で振り返ります。質疑の詳細は次回発行の59号に掲載します。

事前打ち合せ



熱心にメモを取る（議長室）



やさしく丁寧に（委員会室）

リハーサル



身振り手振りアドバイス



大きな声で元気よく「ギチョー」



本会議



音声収録装置



緊張の本番



「議長役どうでした」終了後のインタビュー



担当教諭も生徒を応援



教育長答弁に課長は

共助交通の整備

町長 協議会立上げを検討



町田 貴子



モデル運行を利用して買い物に出かける
みどり二区のみなさん

町田 安心して地域に暮らせる生活交通の整備を、早急に取り組む必要がある。
県内でも智頭町や琴浦町などでモデル運行が始まり、共助交通の導入が検討されている。町内のモデル運行の継続、交通協議会の立ち上げ、広域での取組みなど5年、10年を見据えた、共助交通の早急な整備の取組みが必要である。

町長 現在、福祉施設の車両提供によるモデル運行が実施されている。参加者からは「今は何とかなっているが将来困るのではないか」「月に2回程度の運行を希望する」「多少費用負担があっても利用したい」などの意見がある。
課題はあるが、今後も引き続き運転ボランティアや住民の皆さんに協力いただき、共助交通として検討する。
他市町の取組みを参考に協議会の立ち上げ、広域での取組みなど検討していく。



飯田 正征

飯田 記録的な猛暑となった今夏は、全国的に熱中症で病院に搬送された人が続出した。特に65歳以上の人は、全体の6割を占めたとの報道もあり、エアコンを設置しておらず、死亡した例もある。内閣府の消費動向調査では、エアコン未設置世帯は全体で1割程度、

そのうち70歳以上の一人暮らし世帯では2割近く上がるとのこと。
新年度に向け、高齢者のエアコン設置やその電気代の補助制度を検討してはどうか。

町長 高齢者の熱中症対策として、毎年5月頃から、高齢者世帯を訪問する民生委員に予防チラシとうちわを持参してもらい、注意喚起してきた。さらに昨年度は、室内が危険温度に達したことを警告ランプとブザーが知らせる温湿度計の購入補助をしたところ、170世帯が購入され、熱中症予防効果があったと聞いている。高齢者のエアコン設置状況調査等も含め、まずは民生委員の考えを聞きながら検討してみたい。

酷い松枯れどうする

町長 白砂青松を守る



藤田 和徳

藤田 海岸線松の耕作地際の松林は赤々とした枯木の姿で余りにも酷く、松くい虫被害はもはや防除では対処できる域を越えているのではないかと。松でなければならぬ理由があるのか、他品種の樹木を考えるとどうか。



防風林に広がる松くい虫被害

町長 今春、特別伐倒駆除を行ったが、余りにも被害木が多く、健全な松を守るため今議会に補正を提案した。害虫に強い松の選抜、育種したものを採用し今後も植林したい。
塩害に強く砂浜で育つ樹木のうち、背が高くなつて風を良く防ぐのは、クロマツだけである。町の白砂青松の特徴でもある松林を守り、今後も防除対策を行っていく。

ワイン用苗木 どこまで助成

町長 状況を見ながら

藤田 昨年度、鳥取柿ブドウ等生産振興補助金を使い、ワイン用苗木を植樹された。定植後の管理状態はとも酷い有様で、雑草は伸び放題、苗木が見えず枯れているのではないかと案じた。
ほ場の管理はどうなっているのか。苗木、ブドウ棚と助成してきたが、この先の段階まで助成するのか。



管理が出来ているか

町長 新植や改植をはじめ、慢性的に人手が不足しており、販売面でも昨今の状況等で落ち込んでいる。今後は投資を後回しにせざるを得ない。
町としても、北条ワイン醸造所の意向を確認しながら、支援をしていきたい。

高齢者の熱中症対策 エアコン設置補助を 検討してみたい

北エリアを充実

町長 指定管理者と相談



油本 朋也

油本 再整備計画に、県内唯一のオートキャンプ場がある北エリアの充実を求める声が上がっている。

町内から手軽な行動範囲に、いくつもの道の駅がある。北条道路の建設により失われるお台場のキャンプ場に代わり、家族や仲間と気軽に楽しめる「目的地となる道の駅」を目指していただきたい。

白砂青松の海岸線と松林の整備と、その中に遊歩道やサイクリングロードの設置を求めたい。



北条オートキャンプ場の管理棟

町長 指定管理者と相談して、独自性の発揮できる道の駅の建設に臨みたい。町の負担する経費は工夫を重ねて削減に努め、町民の理解を得るため、情報を可能な限り詳しく公開していきたい。

アウトドアの魅力を活かしていきたい。サイクリングロードは県に声をかけたい。

導入してはどうか

町長 前向きに検討したい



飯田 正征

飯田 本町では害獣による農作物の被害防止に取り組んでいるが、猟友会員（罾設置者）の高齢化と見回る手間が負担となるため、活動が減りつつあるのが現状である。

このほど害獣が農にかかれば、登録者にメールで知らせる装置が製品化された。本装置を導入すれば見回りの負担軽減がはかれ、被害防止対策の強化になると考えられる。町で導入して、猟友会員に無料で貸し出してはどうか。



「御用だ 畑荒らし」(上種)

町長 本町の猟友会員は21人で、うち実働者は12人である。高齢化や本業等の関係で、捕獲活動が十分に行えないようである。害獣捕獲検知装置を導入できれば、見回りが省力化され負担軽減に役買うものと思われる。前向きに検討してみたい。

大誠体育館

このままでもいいのか

町長 少しでも長く使用
報知器は必置ではない

教育長

油本

今年8月、大誠体育館天井付近から煙が発生し、子どもたちが避難する事故が起こった。原因調査の過程で同体育館には火災報知器が設置されていないことが明らかになった。

さらに町内7か所の体育館の内、4か所は火災報知器が設置されているが、同体育館はじめ残り3か所は未設置だった。消防法の解釈によりその適用を免れるとしても、多くの人々が利用する施設がこのままでもいいのか。また、2度目の雨漏

りが確認された。少しでも長く使用できるように、適切な対応が必要である。

町長

大誠体育館の維持管理は、公共施設等総合管理計画で廃止が決定しているが、部分的な修繕は行いつつ、少しでも使用期間が長くなるよう努める。

教育長

煙が出たことは北栄スポーツクラブに連絡があり、状況確認し、それ以降利用を中止した。消防法では、火災報知器は大誠体育館に必置ではない。雨漏りについては、状況確認し、その後も降雨時や定期点検時に様子を見たが、以来雨漏りしていないため、経過観察をしている。



老朽化した大誠体育館（瀬戸）

非接触型体温計

こども園等への配備は

町長 公共施設はすべて配備
私立園で近々に配備

教育長

飯田

新型コロナウイルスやインフルエンザの感染防止対策とし、非接触型体温計は必要である。

① 小中学校、こども園・保育所、放課後児童クラブ、中央公民館、図書館、避難所等には配備してあるか。

② 研修や会合等で不特定多数の人が集う場所に、貸し出しをしてはどうか。

町長

① 公共施設すべてに配備している。

② イベントや会議等で測定数が増える場合は、総務課保管の手持ち型の体温計を貸し出して対応している。

教育長

① こども園・保育所関係では、私立園で配備されていない園を確認したが、近々に配備される予定である。放課後児童クラブは、追加配備が準備されている。

なお、学校、こども園では、各家庭で毎朝検温する取り組みが定着しており、学校等で検温が必要となるケースは多くない状況である。



登園時に検温チェック (由良こども園)

来年は見直しの年

町長 作業を具体化する



斉尾 智弘

斉尾

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大を心配しながらの農作業となった。北栄町農業振興基本計画が策定されているが、来年度は見直しの年となる。

- ① 見直しのスケジュールと農業指導者連絡協議会の活用は。
- ② 経営体の所得が平成26年の2倍を目指しているが、達成率は。
- ③ スイカヘルパーの導入、育成は。
- ④ 北条砂丘ぶどうの産地を守る後継者・サポーター育成は。
- ⑤ 砂丘長芋ねばりっこ、らっきょうの地理的表示取得は。
- ⑥ 有害鳥獣対策は。
- ⑦ 農作物の盗難被害は。

町長

① 1月に計画の達成状況の検証をする。4月には第2次計画への見直し作業を具体化する。

農業指導者連絡協議会はテーマごとに5〜6人の小回りの利く組織に変える。

- ② 現時点での達成率を示せるものはないが、今後は可能な限り数値化してみたい。
- ③ 話し合いが、進んでいない。
- ④ 計画当初より一番力を入れてきたが成果があがっていない。次の戦略を検討する。
- ⑤ 今後の継続事項で、第2次計画へ持ち越す。
- ⑥ 電気柵やワイヤーメッシュ柵の設置助成、見回り軽減のための検知器などを導入する。
- ⑦ 役場も農協も被害報告を受けていないが、被害があればまず届け出たい。

斉尾

災害時の情報共有

ツールとして、あんしんトリピーメールがあるが、登録されている方が少ないと聞いている。いくらすばらしいシステムでも使って頂かなくては、宝の持ち腐れである。普及方法を伺う。また登録して頂いても情報が受け取れない地域があることも予想される。通話、通信不良の解消について伺う。

町長

トリピーメールの登録の推進は、県ではテレビCMで案内し、町では防災マップの裏表紙に掲載し案内をしている。

携帯電話の通信不良は、サービスを行っている携帯電話会社が対応するべきことであり、各個人においても携帯電話を交換すれば解消できる。どうしても繋がらない場合は各会社へ問い合わせていただきたい。



携帯電話は災害時の情報取得ツール

希望者へ支援

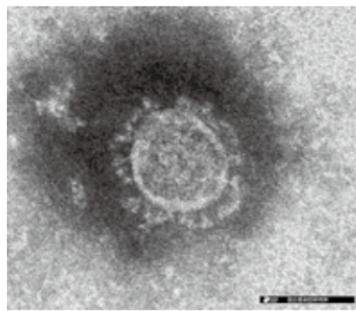
町長 助成は考えていない



長谷川 昭二

長谷川

これまで新型コロナウイルス感染症が疑われる有症状の人や、その濃厚接触者に行っていたPCR検査の対象を拡大し、無症状の人にも実施する医療機関がある。無症状でも、感染に不安を抱えている人がいる。安心して仕事や生活を送れるようにするため、陽性者の多い地域から帰省した人と接触したなどで、自主的にPCR検査を希望する人に支援する必要があるのではないかと。



新型コロナウイルスの顕微鏡写真 (国立感染症研究所)

町長

マスクの着用、3密の防止、手洗い手指消毒の徹底及び適切な換気こそが、唯一新型コロナウイルス感染症に立ち向かう方法と考えている。感染症状のある方への検査体制が確保されているので、無症状の方への検査費助成は考えていない。

① 持続化給付金はほとんどの農家が対象となると農水大臣も答弁した。しかし、令和3年1月15日に申請期限が迫る中、申請を検討していない農家もある。制度について、再度周知徹底を図るべきである。

長谷川

① 持続化給付金は

② 高収益作物次期作支援交付金の申請締め切り後に、要件変更で大混乱になっている。農業を続けられるか不安という農家の声にこたえて、できるだけ元の要件に戻すよう政府に要請すべきである。

町長

① 本町で、前年同月比50%以上売り上げ減少している農業者は、肥育農家や酪農家が主で、そのほかの農家で給付の該当者はほとんどなかった。コロナ禍の長期化を踏まえ、JAからの周知も打診しながら、再度周知したい。

② 全国的に問題となった。本交付金を見込んで、機械や資材に投資を行うなど、取り組みを行った生産者の経営に影響が生じ、取り組み継続ができなくなるという、救済措置が盛り込まれた。すでに本町も、町村会を通じて元の要件に戻すよう政府に求めている。



補助金を予定して導入した2条用種まき機

農業の持続支援

制度の徹底周知を

町長 再度周知する

なかよし 兄弟姉妹



なかよしさん 募集中！
 議会事務局まで

加藤 ^{りょう} **凌くん** 6歳 (左)
^{らん} **蘭ちゃん** 3歳 (右) (国坂)



恥ずかしがりやだけど優しくて頼もしいお兄ちゃん。
 おしゃべり、歌うこと大好き蘭ちゃん。
 たくさん遊んで大きくなってね。

時枝 ^{やまと} **大和くん** 中1 (右)
さくらさん 小3 (中央)
すみれさん 6歳 (左) (六尾)



優しく面倒見のいい「大和」
 負けず嫌いで頑張り屋さんの「さくら」
 よく気が付きひょうきんな「すみれ」
 個性あふれる3人のおかげで、毎日にぎやかに過ごして
 います。兄妹仲良く元気に育って欲しいと思います。

知っとなる？こんな北栄

空環21 (大栄庁舎駐車場内)



竹下 登内閣が打出した「ふるさと創生1億円事業」の一環として、旧大栄町が設置したシンボルタワーで、平成2年3月30日に完成したもの。
 人と自然との永遠の調和を柱に、21世紀へ向かって着実、健全に伸展する町の姿を象徴している。
 高さ38呎の白御影石(中国産)と黒御影石(韓国産)をらせん状に21段積み上げ、どの方向から眺めても同じ姿に見える。高さ8呎、重量約16ト、総工費1133万円。構想設計を彫刻家・野島二郎氏(大阪府)に依頼し、設計施工を(株)サンセキ(東園)が請負った。

北栄歴史民俗資料館 (土下)



旧北栄町が「ふるさと創生1億円事業」で建設した3施設のうちの一つである。
 郷土の文化遺産・伝統文化を展示及び収集・保存し後世に伝承する目的で、旧北栄町役場西側に新設したもの。平成元年11月に完成し、内部の展示を整えた後の翌年11月にオープンした。鉄筋コンクリート二階建、広さ427.7平方呎、総事業費は9419万円で、そのうちふるさと創生資金(国費)を2200万円投入した。
 同館はいまなお健在で、現在は愛称を「北栄みらい伝承館」とし、ますます町民に親しまれている。

発行責任者 議長 前田 栄治
編集 広報広聴常任委員会
 委員長 井上信一郎
 副委員長 秋山 修
 委員 宮本 幸美
 町田 貴子
 齊尾 智弘
 田中 精一

「知っとなる？こんな北栄」に掲載した町内のJR西駅が、令和5年3月を皮切りに「無人化と駅舎シンプル化」するとJR米子支社から発表された。
 利用者減少や人手不足が顕著となり、経営合理化の一環とのこと。
 北栄町としては、由良駅は駅舎譲渡を受け、町内観光の玄関口にリニューアルすることを選択した。
 一方、下北条駅はJRの方針どおり、令和14年頃までにシンプル化工事が行なわれる。
 慣れ親しんだ駅舎が無くなることは寂しさを感じるが「駅」が無くなるわけではない。これも時代の流れであろう。
 田中 精一

編集後記